



生涯学習だより

鶴田町教育委員会
社会教育課

☎ 59-2022
FAX 59-2085



お世話になりました。



「光陰矢の如し」
派遣社会教育主事として初めてお世話になった鶴田町での三年間の生活は、まさにこの言葉どおりでした。

見るもの聞くもの、出会う人、関わる仕事内容と何から何まで初めての経験で、戸惑いと不安の毎日でしたが、素晴らしい上司・同僚・地域の方々の温かいご指導・ご支援により、何とか無事三年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。社会教育に携わり、家庭や地域の教育の素晴らしさや重要性を痛感するとともに、学校に対する期待の大きさも再認識しました。また、生涯学習社会を陰になり日なたになり支えている素晴らしい人々との出会いを通して、一人の

人間としてどう生きるかについて深く考える機会を与えていただきました。

さらに、長女が誕生し、父親になった地でもあり、ダムと温泉をはじめ、素晴らしい自然、心温かい人の住む鶴田町は私にとって生涯忘れ得ぬ土地となりました。心から感謝しています。

最後になりますが、鶴田町の発展と町民の皆様の益々の御健康と御多幸をお祈りしてお礼とさせていただきます。
(串木野市教育委員会勤務 下 健一郎)

よろしく願います。



四月一日から鶴田町派遣社会教育主事として勤務している中園明男です。坊津町立栗野小学校からきました。

中学校卒業程度認定試験 実施のお知らせ

「中学校卒業程度認定試験」は、病気などやむを得ない理由で中学校を卒業していない人や日本の国籍がない人に対し、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験です。合格した人には、高等学校の入学資格が与えられます。

受験を希望される方は、町教育委員会学校教育課(59-2932)までご連絡ください。

1 受験資格
(1) 就学猶予免除者である者又は就学義務猶予免除者であった者で、平成16年3月31日までに満15歳以上になる者

(2) 保護者が就学させる義務の猶予又は免除を受けず、かつ、小学校、中学校(中等教育学校の前期課程を含む)又は盲学校、聾学校若しくは中等部に在学し、平成16年3月31日までに満15歳に達する児童又は生徒で、就学させる義務の猶予又は免除を受ける事ができる事由があると文部科学大臣が認めた者

あなたの学びを応援します かごしま県民交流センター オープン

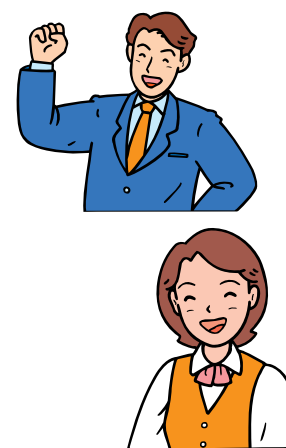
- (3) 平成16年3月31日までに満16歳以上になる者
(1)及び(4)に掲げる者を除く
- (4) 日本の国籍を有しない者で、平成16年3月31日までに満15歳以上になる者
試験期日
平成15年11月4日(火)10時～15時40分
試験科目
国語、社会、数学、理科、外国語(英語)
願書受付期間
平成15年8月1日(金)～同年9月1日(月)
その他
出願書類、願書受付場所、試験会場など詳しい事については、町教育委員会学校教育課までお問い合わせください。

旧県庁跡地に「県民が親しみ、出会い、交わるオアシス空間を目指して！」かごしま県民交流センターがオープンしました。「生涯学習」「国際交流」「男女共同参画」「介護の実習・普及」の四つの機能を兼ねそなえた

公民館講座・子ども会・高校生クラブ・高校生クラブ父母の会・PTA・青年団・家庭教育学級・花いっぱい運動など多くの活動を担当させていただいています。
初めての事ばかりで少々不安ですが、皆様のご支援・ご協力を頂きながら、学校での経験を生かして社会教育の充実を図っていききたいと思っております。よろしく願います。



三月三十一日付で退職された此元弘行社会教育指導員の後任として、四月から社会教育課で、文化協会・女性の広場・青少年を担当している内堀雅子です。初めての事ばかりなので、ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



六階建ての施設です。

共用施設として

- ①県民ホール
- ②多目的ホール・展示ロビー
- ③学習室・研修室
- ④生命と環境の学習館
専用施設として
生涯学習

①放送大学鹿児島学習センター

②視聴覚フロア
国際交流

①パスポート窓口
②国際交流プラザ
男女共同参画

①相談室
介護の実習・普及

①介護実習室
②福祉用具展示室

③モデルハウス
があります。

また、屋外施設として

①県政記念館
(旧県庁舎本館玄関部分)

②県政記念公園
があります。詳しくはかごしま

県民交流センター(☎099-2216600(代表))へお問い合わせください。なお、ホームページも公開しています。アドレスは <http://www.kagoshima-pac.jp> です。親子で楽しめる施設です。ぜひ一度ご覧ください。

特集

「歴史の道」を歩く

郷土の史跡や文化財・自然に親しみをもち、郷土愛の心を高めることを目的に「歴史の道」を歩く活動が、5月24日(土)実施されました。
当日は天候が心配されましたが、町内外から子ども30名、大人20名ほどの参加者が集まりました。

今年、柏原地区の史跡や田の神・耕地整理碑に目を向けて探訪しました。

(解説)

七百五十年くらい昔、神奈川県から領主としてこの地方に渋谷五人兄弟がやってきました。柏原と宮之城町の領主となったのが祁答院氏です。祁答院氏の史跡として運動場下にある七百年昔の稲荷神社、六百年昔の県内最古の五輪塔があります。近いうちに神社を建て直す予定のようです。

見過ごしていたのが末松金四郎・田崎孝徳親子の功績をたたえる碑や柏原一番地の碑です。この辺りが柏原の中心地だったと思われます。

昔、生活がとても苦しかった農民が自分たちの楽しみを求め、願望と祈りを石に刻んだのが田の神です。表向きは豊作を祈るという事でしたが、作った米の九割五分は自分の物ではないので、田の神を作って自分たちを慰めていました。田には水が必要です。用水路や四角の田んぼにする苦勞の印の耕地整理記念碑を見ました。

祁答院氏一族の石塔には、それと分かる型があります。祁答院氏のお寺は黄龍山大願寺です。寺跡には多くの石塔と鐘撞堂跡のほか、祁答院氏がいた山城Ⅱ長岡城があり東側の崖下は川内川です。

国道下にあつて気づきにくい大願寺の耕地記念整理碑には四十年前の様子が詳しく書かれ、七十八人の人々が助かったとあります。

小路下手には百年前の湿田の排水工事などをしたとあります。機械のない時代だったのだといへんだったようです。

昔の史跡、近代の人々の苦勞を考えさせる歴史散歩でした。

